

ウインドシールドシリーズ RS (クリア/ミドルサイズ) SS (スモーク/ショートサイズ)	適応車種	商品NO.
	PCX (25) PCX160 (25) <JK05/KF47>	62235 (RS) 62237 (SS)

■ご使用前に必ずご確認ください■

※本商品のご使用前に最終項に記載のURL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。



※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。


※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡ししてください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。


 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 可燃性注意	表記の注意を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
--	---------------------	--	-------------------------	---	----------------	---	---------------------

警告 要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。

	<ul style="list-style-type: none"> 本商品は太陽光を直接当てると、小さな領域に集光する光学的特性があります。そのためごくまれなケースですが、車両の他の部分に損傷を与える場合がありますので、直射日光があたったままの状態での駐車しないでください。 ※右イラストの様に車体後方から直射日光があたる状態が最も集光の影響を受ける状態となります。 ※やむを得ず直射日光があたる場所に駐車する場合は、ウインドシールドに傷の付きにくいタオルなどを掛けて直射日光があたらないようにウインドシールド全体をカバーしてください。 上記警告のガイドラインに基づいて、不注意によるいかなる損傷に対しても弊社では一切の責任を負いませんのでご了承ください。 ガソリンやブレーキ液、アセトン、シンナーなどの化学物質がウインドシールドに付着しないようにしてください。付着すると細かいヒビやキズ、クモリ、変形、ワレなどが生じます。付着してしまった場合は直ちに水で洗浄してください。 本商品は長期間使用すると紫外線の影響や経年変化などによりウインドシールド本体が変色やクモリが発生する場合があります。前方の視界が悪くなった場合はそのまま使用せず、必ず新しいウインドシールドと交換してください。また、車両の転倒やその他の影響によりウインドシールドにキズやクモリ、歪み、ワレなどが発生した場合も同様に交換してください。 ウインドシールド清掃の際には、洗車ブラシなどの使用や乾いた布での乾拭きはしないでください。キズが付き視界が悪くなります。また、コンパウンドなどの研磨剤入りの磨き剤も使用しないでください。 本商品を装着時は風などの影響を受けやすく、不安定な場所に駐車すると転倒の恐れがあります。また、土の上など路面の柔らかい場所や傾斜した場所には駐車しないでください。必ずアスファルト等の固く安定した平坦地に駐車してください。 	 <p>【危険！NG】</p>
---	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> 取付前に取付箇所の純正部品や車両に欠損や破損がないか確認してください。異常が見られる場合は新品に交換するなどしてください。 走行前に各部の取付状態を点検（ウインドシールドにガタはないか、風圧によって動くことはないか、ボルトやナットの緩みがないか）し、異常がある場合は必ず増し締めしてください。 装着後は走行フィーリングが変わりますので、必ず乗車感覚を確認してください。 暴風時や豪雨時、降雪時など危険な状況下では走行しないでください。 強風時は走行安定性が悪くなり、風の影響を受けやすく、降雨時は視界が悪くなります。必ず安全運転を行ってください。 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。
---	--

注意 要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

	<ul style="list-style-type: none"> 商品取り扱い時に商品の端面や商品に突起やバリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。取り扱いの際は必ず保護手袋を着用しケガには十分に注意して作業を行ってください。またエッジや突起部がある場合は、ヤスリなどを使用して適切な処理を行ない、取り除いてください。 本商品を開梱の際は構成部品に外観の不具合や異常がないことを必ず確認ください。万一お気づきの点がございましたら、ご使用前にお買い求め販売店へ速やかにご相談ください。 適合車両以外の車両には使用しないでください。 認証工場などの適切な設備と技能、専門知識のある整備士を有した店舗に脱着作業をご依頼ください。作業が適切に行なわれないと、作業中やご使用中に車両や部品の損傷、不具合が発生する場合があります。 作業は周囲の安全を確保し、安全な場所で車両を固定し安定させたくうえで、転倒やケガに十分注意して作業を行ってください。 本商品を取り付ける際は、車両にキズがつかないようにウエスなどで保護してから作業してください。 取り付けは各作業に適した工具をご使用ください。不適切な工具を使用すると部品の破損やケガをする可能性があります。 本商品を取り付ける際には所定トルクで確実に締め付けてください。特にウインドシールドを締め付ける際はオーパートルクに注意して取り付けてください。締め付けすぎるとウインドシールドの破損や変形の原因となる場合がございます。 本商品を取り付けると純正ミラーの位置がオフセットされます。確実に後方が確認できるようにミラーの調整をしてください。 取り付け後に約 100km 走行しましたら各部を必ず点検整備し、必要に応じてネジの増し締めを行ってください。その後は約 500km 毎に必ず同様の作業を行ってください。 ハンドルを左右へ全開にきり、ウインドシールドが車体に接触しないか確認してください。また同時にブレーキレバーやスロットルが正常に作動することを確認してください。異常がある場合は取付位置を調整してください。 車体カバーを使用する場合は、ウインドシールド付き用のカバーを使用し、直射日光が当たらない風通しの良い場所に駐車してください。 ※サイズが合わないカバーを無理に使用するとウインドシールドが変形する原因となります。また、高温下で放置した場合もカバー内部が高温となり、ウインドシールドの変形の原因となります。ご注意ください。
---	---



要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。



可燃性注意

・本商品はポリカーボネート製です。走行直後のエンジンやエキパイ、マフラー付近に近づけると変形します。また、ポリカーボネート自体も可燃性素材ですので火に近づけないでください。

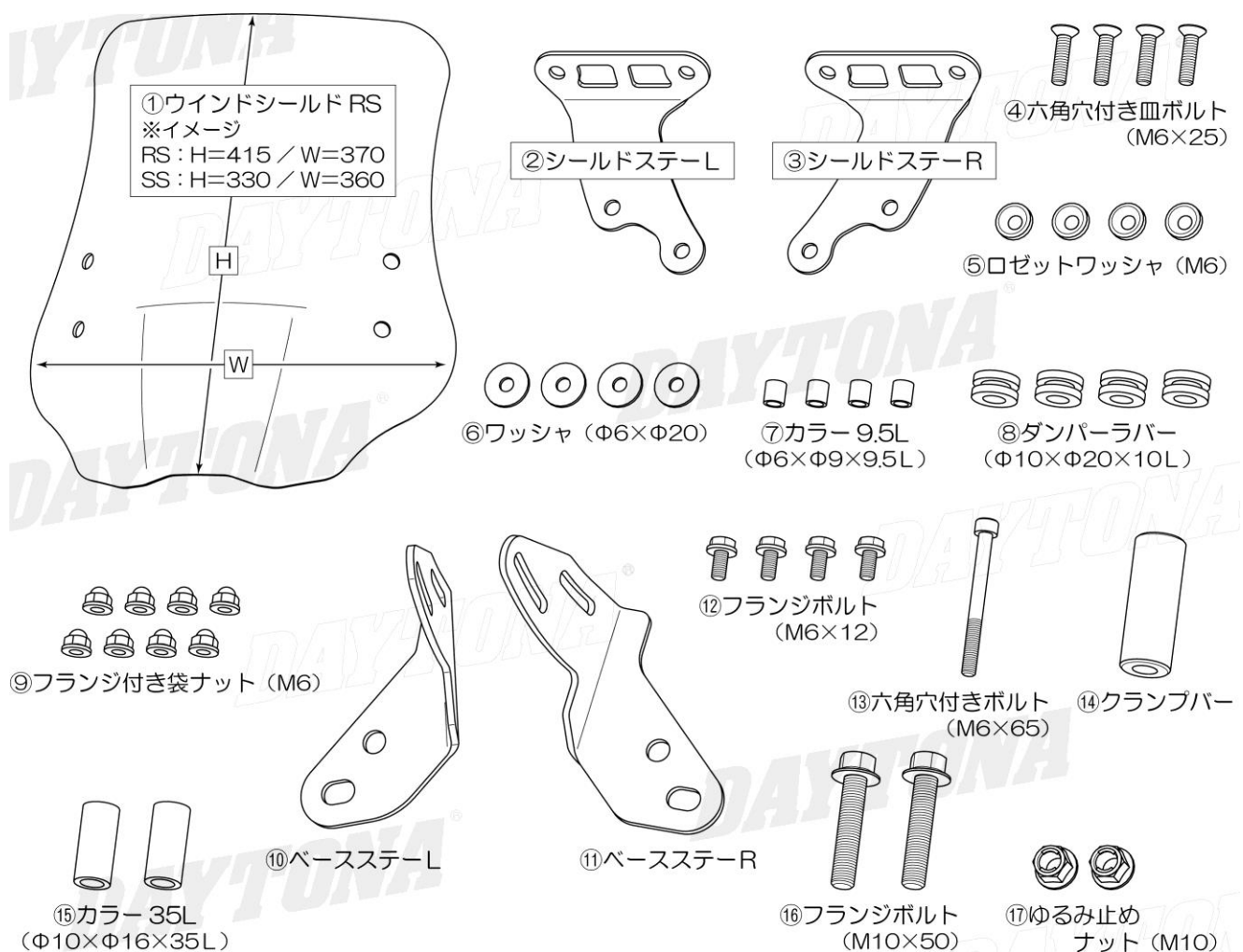


その他

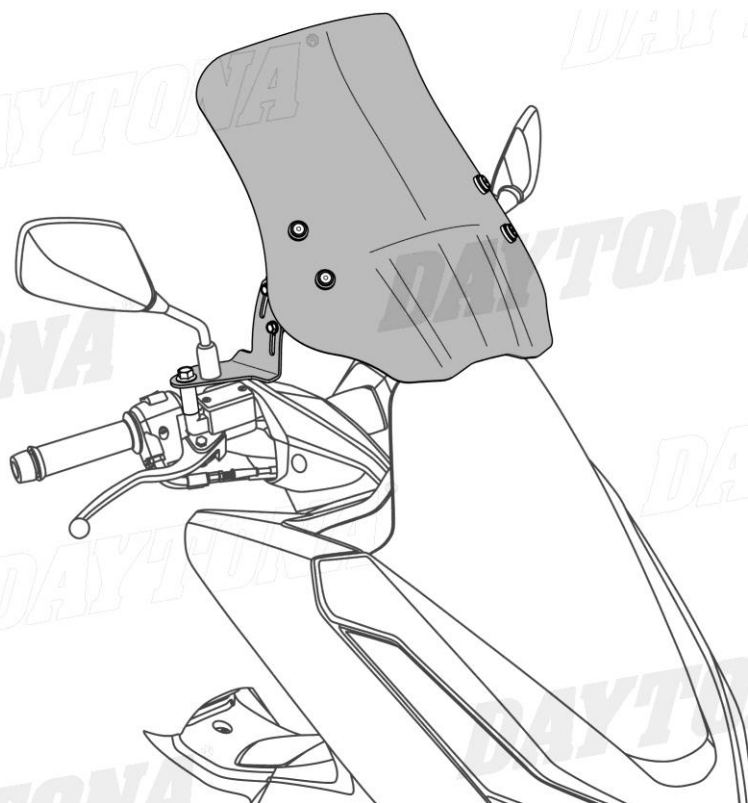
- ・商品保証は、本商品のみの対象となります。また本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は、一切お受けできません。
- ・車両組み付け個体差により、左右のミラー取付穴の中心から多少異なる位置に組み付けられている場合があります。無理に位置を合わせるとウインドシールドの歪みや破損などにつながります。必ずミラー取付穴位置を適切に調整してからウインドシールドを取り付けてください。
- ・本商品はスチール製の塗装商品になります。ご使用の環境や経年変化、素材劣化（サビ含む）が、どうしても早期から進行する場合があります。
- ・定期的に各部の点検を行なってください。また塗装のはがれやキズ、サビなどが発生した場合は適切な補修を行なってください。補修せずに行うと素材劣化が促進され、本商品の破損だけでなく、車両へのダメージの原因となります。
- ・本商品を取り付けた場合、車両側の取り付け面や、その周辺にキズが付く可能性があります。
- ・本商品は、商品の製造方法と車体の組み付け個体差により、商品のカットラインと車体側のラインは完全には合いません。
- ・本商品は新車の車両状態を前提に設計しています。ハンドルなどの部品を交換されていると装着ができない場合があります。またカスタムミラーなど純正ミラーより重くなるミラーを取り付けた場合に本商品の破損の原因となります。
- ・車両側に転倒歴がある場合、お取り付けできない可能性があります。
- ・アイドリング時や走行時にウインドシールド本体が振動で振れる場合がありますが、異常ではありません。
- ・本商品の取り付け時に外した純正部品は紛失しないように十分にご注意してください。
- ・本商品、または本書でご紹介した商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・【商品の手入れ方法】⇒水をかけて表面のほこりや砂を洗い流した後、柔らかいスポンジなどで水と中性洗剤を含ませてやさしく洗ってください。洗剤は水で洗い流してください。シンナーや、溶剤を含む化学薬品などの使用は、変形、歪み、破損の原因となりますので絶対に使用しないでください。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	ウインドシールド RS	※62235 : クリア	1	⑨	フランジ付き袋ナット	M6	8
	ウインドシールド SS	※62237 : スモーク		⑩	ベースステー-L		1
②	シールドステー-L		1	⑪	ベースステー-R		1
③	シールドステー-R		1	⑫	フランジボルト	M6×12 (P1.0)	4
④	六角穴付き皿ボルト	M6×25 (P1.0)	4	⑬	六角穴付きボルト	M6×65 (P1.0)	1
⑤	ロゼットワッシャ	M6	4	⑭	クランプバー	Φ22×60L	1
⑥	ワッシャ	Φ6×Φ20	4	⑮	カラー-35L	Φ10×Φ16×35L	2
⑦	カラー-9.5L	Φ6×Φ9×9.5L	4	⑯	フランジボルト	M10×50 (P1.25)	2
⑧	ダンパーラバー	Φ10×Φ20×10L	4	⑰	ゆるみ止めナット	M10	2



装着参考イラスト



<ミラーに関する法規の抜粋>

衝撃緩衝装置について

2005年（平成17年）1月1日以降に認定された新型車と輸入車、及び2007年（平成19年）1月以降の全ての生産車に対し、新保安基準が適用されます。

本書では上記の新保安基準の『衝撃緩衝装置の装着』に関して記載させていただきます。本書の条件を満たしていても、必ずしも保安基準を満たすということではございません。

（ミラーの形状や面積、取付条件も関係する為）あらかじめご了承ください。

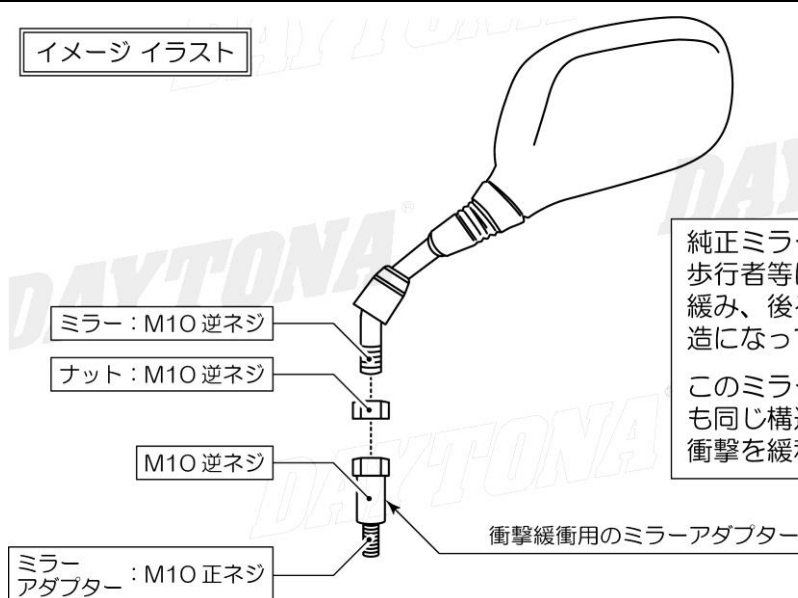
衝撃緩衝装置とは

衝撃緩衝装置とは主に『歩行者等にミラーが接触した際、衝撃を和らげる』装置を指します。新保安基準が適用された車両の多くの場合はミラー取付部に専用のアダプターボルトを使用しています。

新保安基準が適用されている車両において、衝撃緩衝装置の装着がなされていない場合は公道での使用ができません。

代表的な衝撃緩衝装置の例（左側ミラー）

イメージイラスト



純正ミラーを逆ねじ、車体側を正ねじとすることで歩行者等に前から接触した際はミラーアダプターが緩み、後ろから接触した際はミラーが緩むような構造になっています。

このミラーがついている車両の場合、右側のミラーも同じ構造となっており、前後からの接触に対して、衝撃を緩和する機構となっています。

ミラー及び衝撃緩衝装置の取り扱いについて

弊社で取扱販売をさせていただいている商品の中で、『純正の取付位置よりミラーの位置を変更する』商品がございます。純正ミラーの位置より変更する際は、必ず衝撃緩衝装置（アダプターボルト）も一緒に移動させてください。また、ミラー及びアダプターボルトの取り外しの際は正ねじ、逆ねじに注意してください。

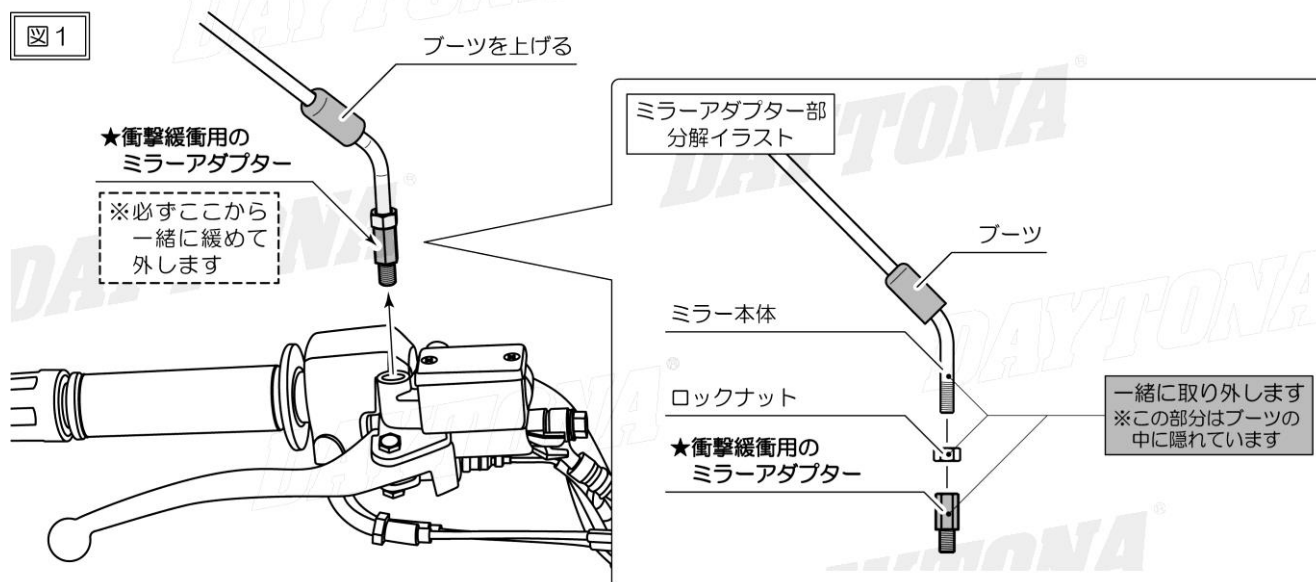
取付方法

【作業前の注意事項】

- 純正部品の取り外しや取り付けについては、各メーカー発行のサービスマニュアルに従い、正しく行ってください。
- 作業を始める前に周囲の安全を確保し、車両を安定させた状態で転倒やケガなどに十分注意して作業してください。
- メーター付近のボディカウル類にキズが付かないようにウエスなどで保護してから作業を進めてください。

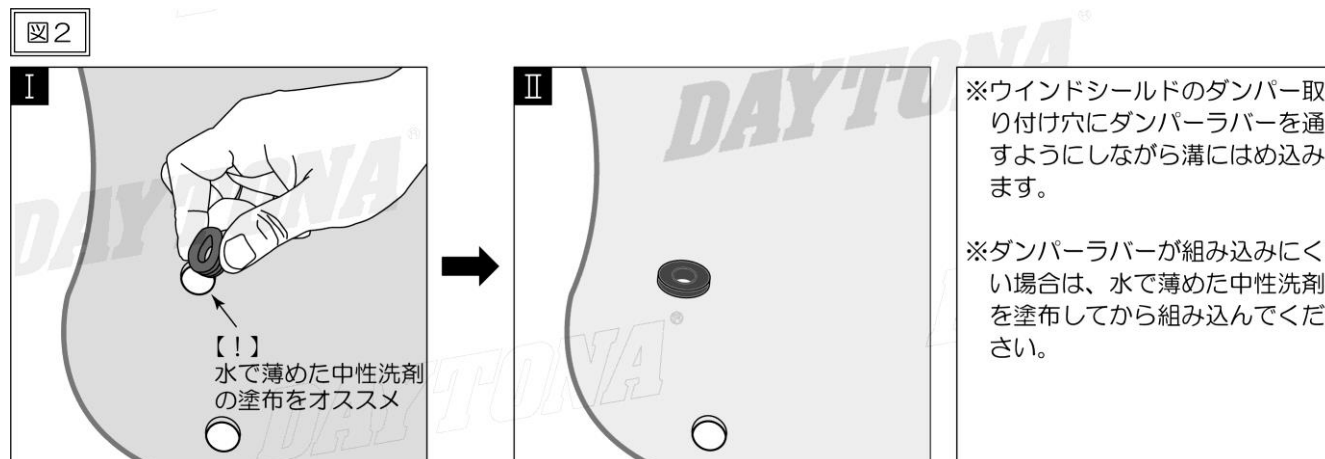
01. 純正ミラーの取り外し

- 図1を参考に、左右の純正ミラーを衝撃緩衝用ミラーアダプターごと取り外します。



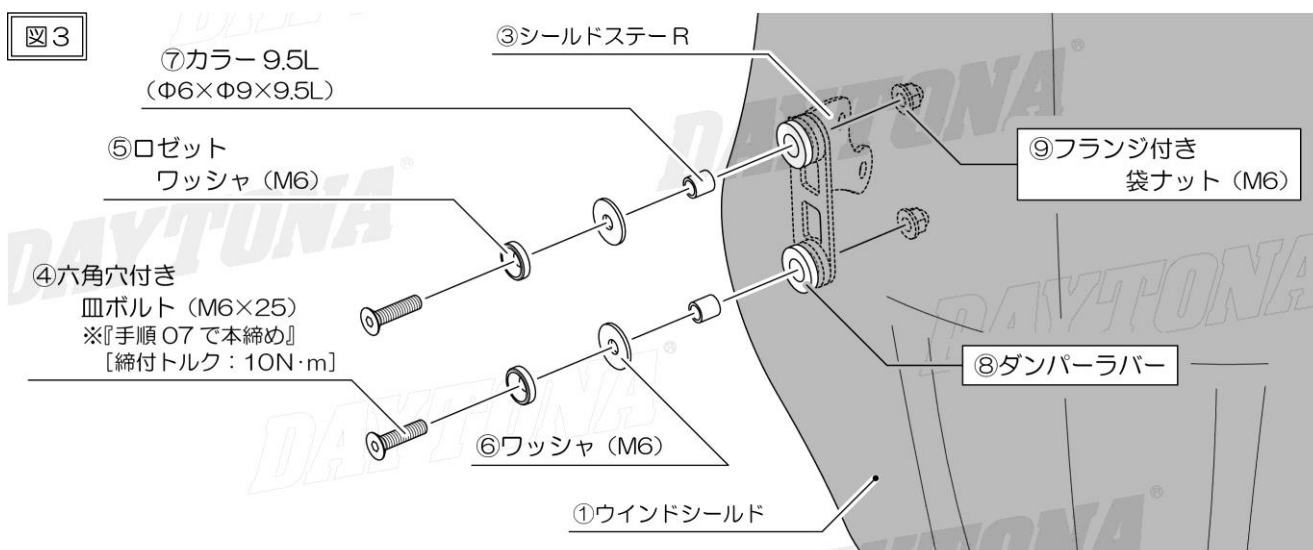
02. ダンパーラバーの取り付け

- 図2を参考に、①ウインドシールドに⑧ダンパーラバー (Φ10×Φ20×10L/4個) を取り付けます。



03. シールドステーの仮組み

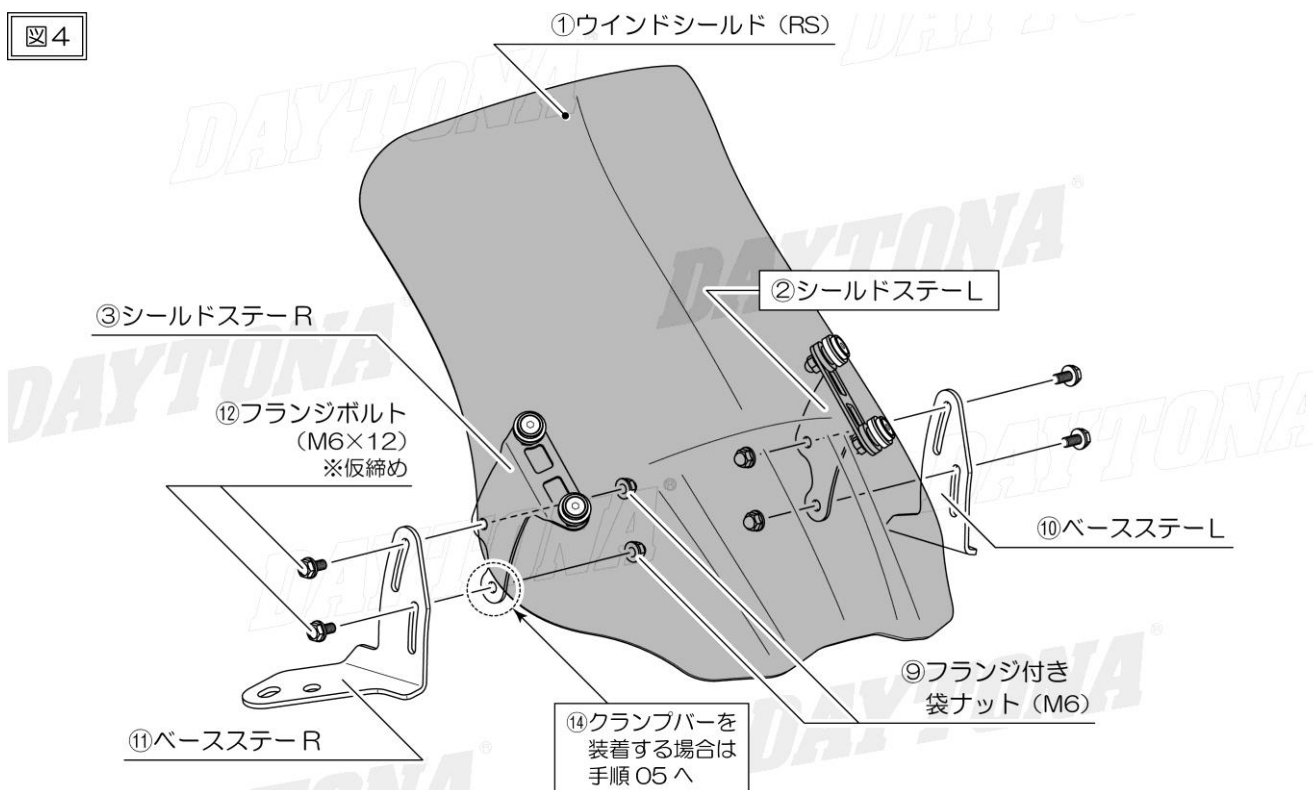
- 図 3 を参考に、①ウインドシールドに②シールドステー-Lと③シールドステー-Rを④六角穴付き皿ボルト (M6×25/4 本) と⑤ロゼットワッシャ (M6/4 個)、⑥ワッシャ (Φ6×Φ20/4 枚)、⑦カラー-9.5L (Φ6×Φ9×9.5L/4 個)、⑧ダンパーラバー、⑨フランジ付き袋ナット (M6) を使用して仮組みします。



※イラストは右側への取り付け詳細図になります。左側も同様に取付けてください。

04. ベースステーの仮組み

- 図 4 を参考に、手順 03 で仮組みしたウインドシールドに⑩ベースステー-Lと⑪ベースステー-Rを⑫フランジボルト (M6×12/4 本) と⑨フランジ付き袋ナット (M6/4 個) を使用して仮組みします。

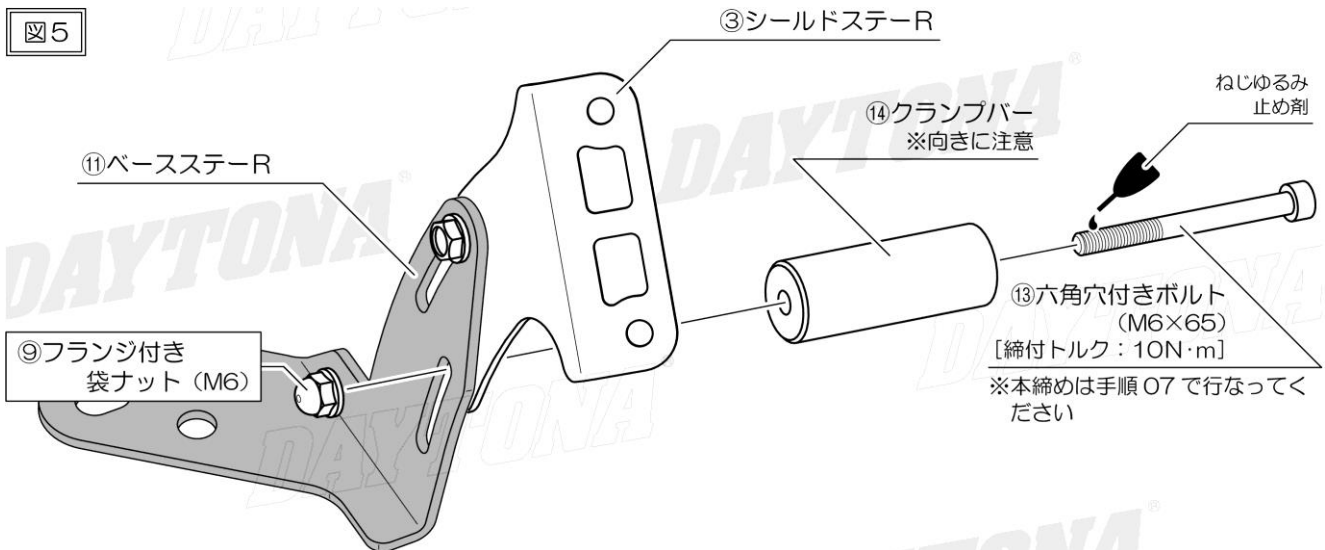


05. クランプバーの取り付け（※使用しない場合は手順 06 へ）

- ⑭クランプバーを装着する場合は⑬六角穴付きボルト（M6×65）を使用して車両の内側になるように取り付けします。
※クランプバーの片側には⑬六角穴付きボルトの頭部が収まるように段付加工されており、向きに注意して取り付けください。
※クランプバーを装着した場合、⑫フランジボルト（M6×12）が1本あまります。

※⑭クランプバーはΦ22.2のハンドルと同じ太さになっており、Φ22.2ハンドルに装着できる汎用クランプが取り付け可能です。
※クランプバーを取り付ける場合は、ねじゆるみ止め剤などを使用して確実に固定してください。
※クランプバーにはハンドル操作に影響を及ぼす重量物や視認を妨げる物は取り付けしないでください。

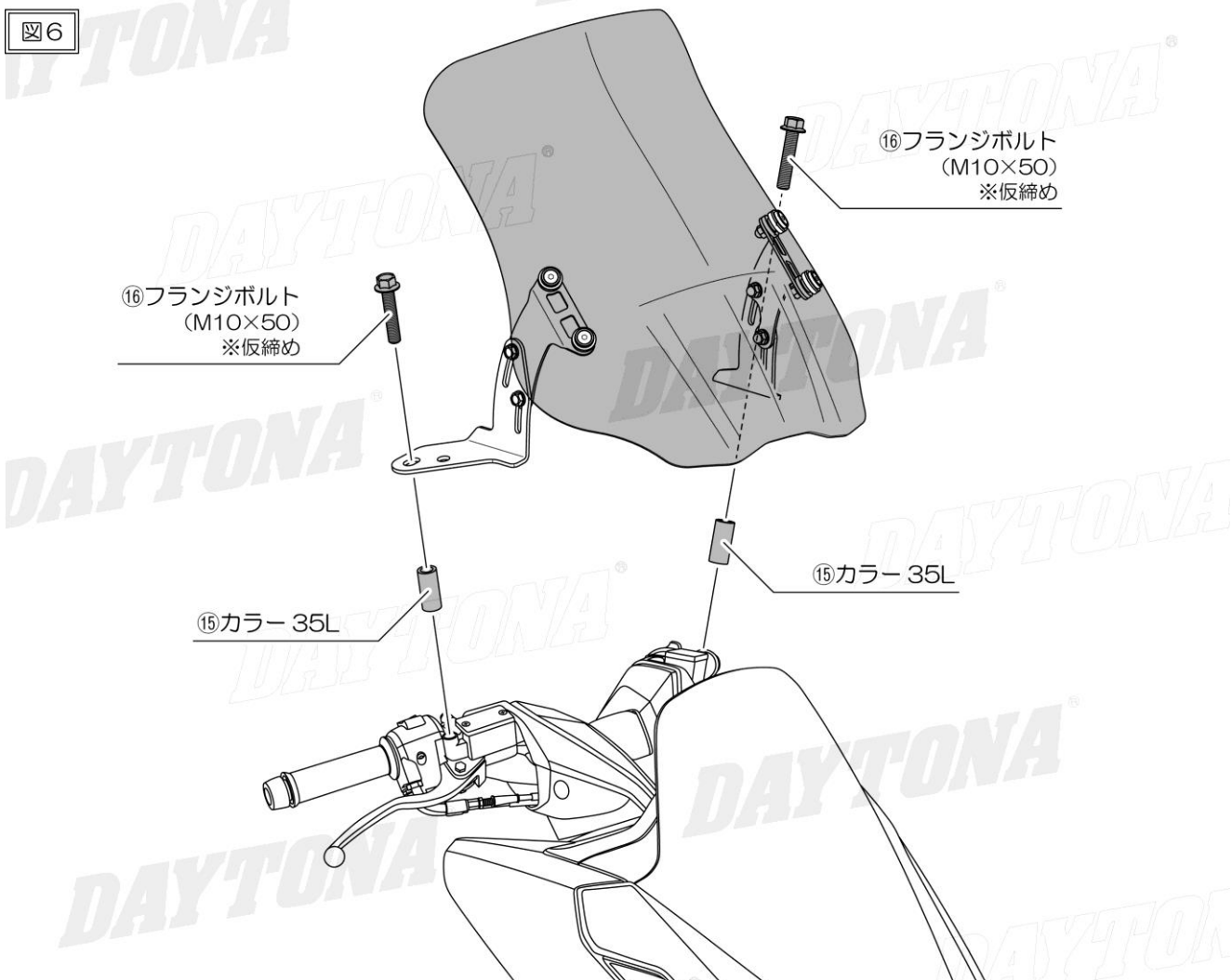
図5



06. ウィンドシールドの取り付け

- 図 6 を参考に、手順 04 で仮組みしたウィンドシールドを⑮カラー35L（Φ10×Φ16×35L）と⑯フランジボルト（M10×50）を使用して車両に仮組みします。
※ベースステー内側にある丸穴はミラー取り付け用の穴になります。

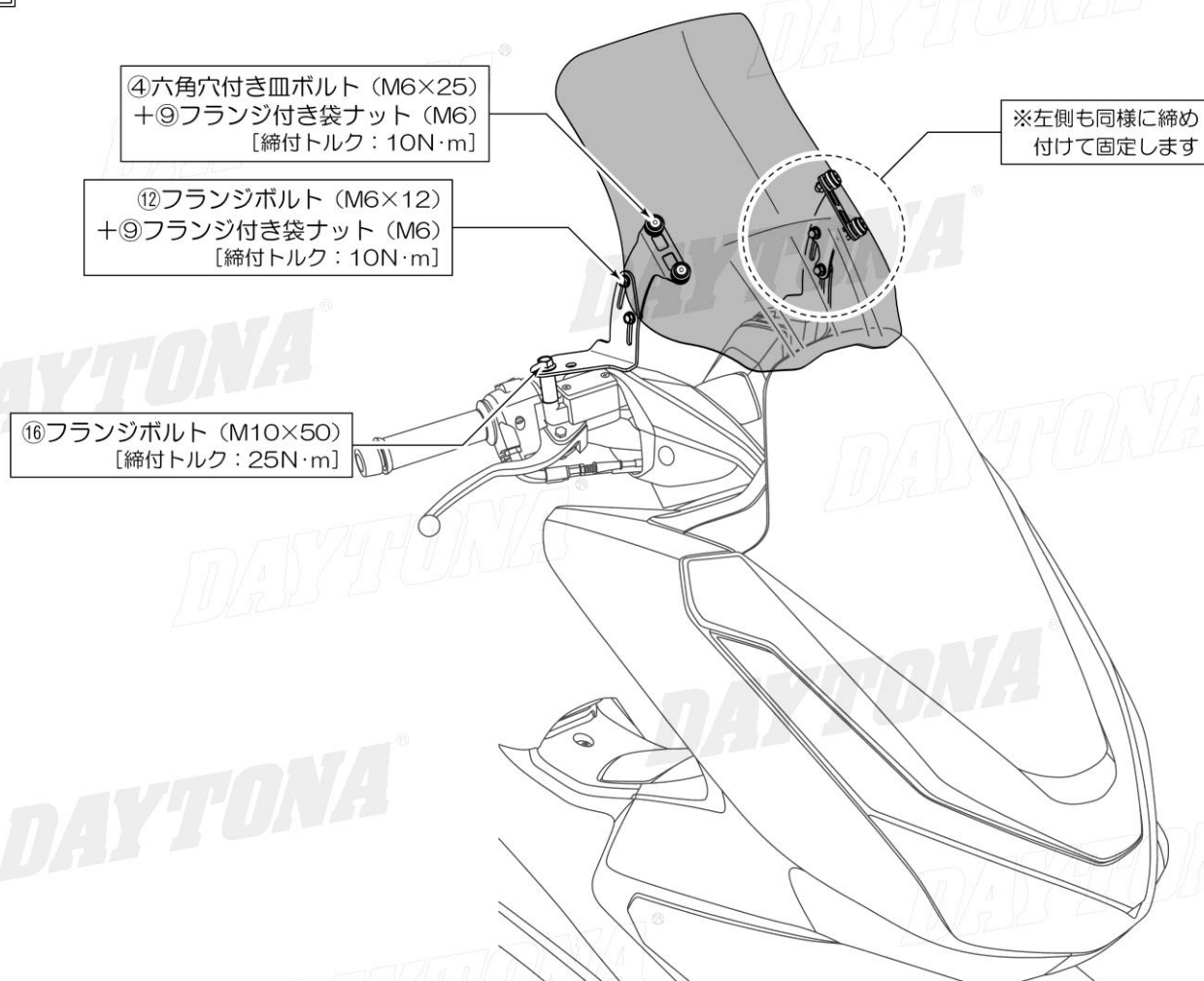
図6



07. シールドステーの固定

- 図 7 を参考に、④六角穴付き皿ボルト (M6×25) と⑨フランジ付き袋ナット (M6) を所定トルク (10N・m) で締め付けて①ウインドシールドと②シールドステー-L、③シールドステー-Rを固定します、
- ウインドシールドと車両の中心を合わせます。
- ⑩フランジボルト (M10×50) を所定トルク (25N・m) で締め付け、⑩ベースステー-Lと⑪ベースステー-Rを固定します。

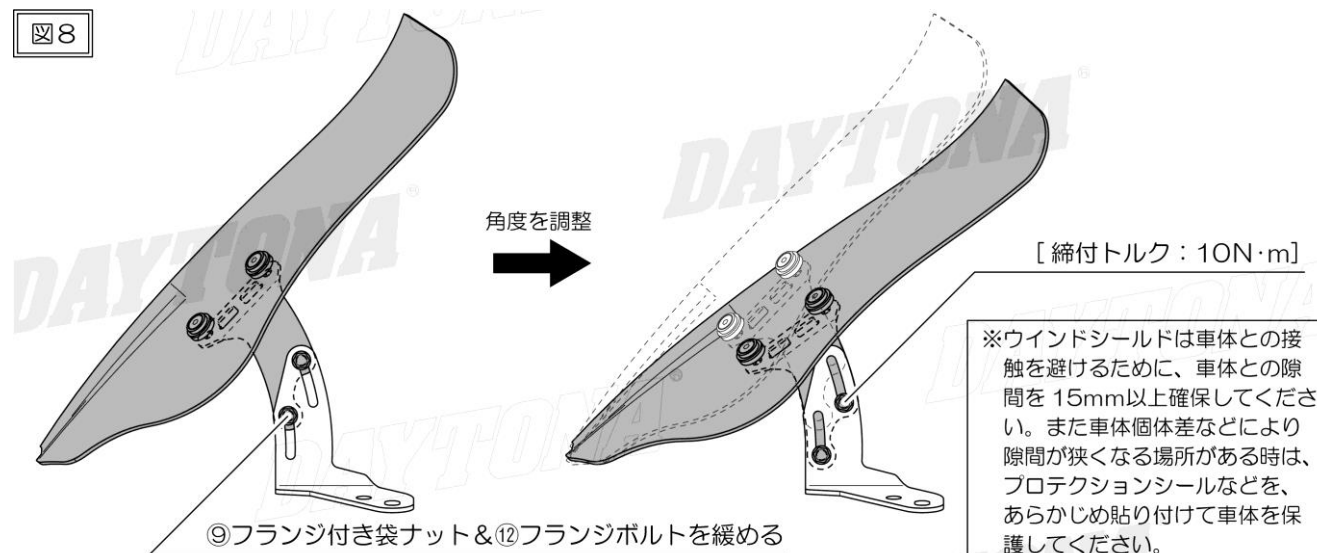
図 7



08. ウインドシールドの角度調整

- 図 8 を参考に、ウインドシールドをお好みの角度に調整し、手順 04 (手順 05 含む) で仮組みした⑫フランジボルト (M6×12) を所定トルク (10N・m) で締め付けて固定します。

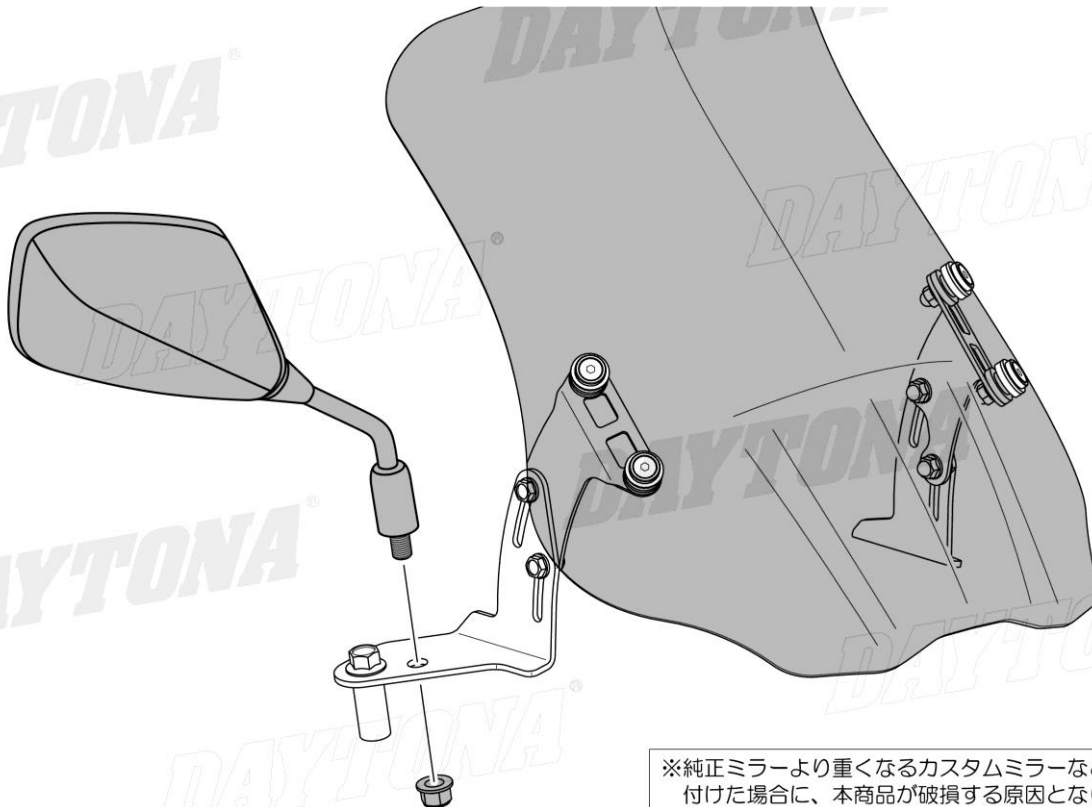
図 8



09. 純正ミラーの取り付け

- ・ 図9を参考に、左右の純正ミラーと⑰ゆるみ止めナット（M10）を⑩ベースステーLと⑪ベースステーRに取り付けます。
- ・ 後方確認ができるように純正ミラーを調整します。

図9



※純正ミラーより重くなるカスタムミラーなどを取り付けた場合に、本商品が破損する原因となります。

◇ゆるみ止めナットの取り扱い方法◇

◆ゆるみ止めナットは「ゆるみ止め機構」を持ったナットです。ナットを締め込んでいき、イラストのロック部に差し掛かると非常に固くなり、手締めができなくなります。適切な工具を使用して所定トルクまで締め付けてください。

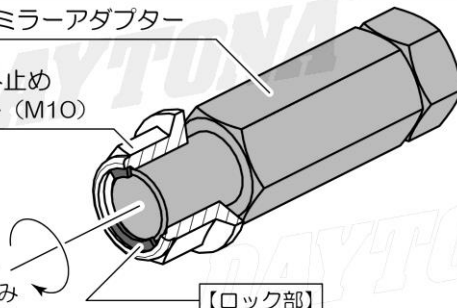
※ロック部からの締め込みは工具を使用しても回りが非常に固くなります。

純正ミラーアダプター

⑰ゆるみ止めナット（M10）

ナット締め込み

【ロック部】



10. 点検作業

- ・ 各部が確実に取り付けられていることを点検してください。異常がなければ作業は終了です。

補修部品

品番	品名	構成内容
97518	ウインドシールド RS 単品	①ウインドシールド RS×1
91320	ウインドシールド SS 単品	①ウインドシールド SS×1
79423	シールドステーLRセット	②シールドステーL×1/③シールドステーR×1
62818	ベースステーLRセット	⑩ベースステーL×1/⑪ベースステーR×1
79424	ボルトナットセット A	④六角穴付き皿ボルト（M6×25）×4/⑤ロゼットワッシャ（M6）×4/⑥ワッシャ（Φ6×Φ20）×4/⑦カラー-9.5L×4/⑧ダンパーラバー×4/⑨フランジ付き袋ナット（M6）×8/⑫フランジボルト（M6×12）×4
96493	ボルトナットセット B	⑮カラー-35L×2/⑯フランジボルト（M10×50）×2/⑰ゆるみ止めナット（M10）×2
79425	クランパーセット	⑬六角穴付きボルト（M6×65）×1/⑭クランパー×1

■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面（レシートなど）が必要となります。
※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。
3. 下記のアドレス（またはQRコード）より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を以って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



■保証修理の受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/index.php>



株式会社 **デイトナ**
東証スタンダード上場

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

転載 本取扱説明書の内容の一部、
禁止 または全ての無断転載を禁止

<https://www.daytona.co.jp>